

令和 8 年産

仙南稲作情報(第3号)

令和8年7月2日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL:0224-53-3496
FAX:0224-53-3138
E-mail:oknkt@pref.miyagi.lg.jp

- 5月上旬移植のひとめぼれは、まもなく幼穂形成期に達する。
- 葉色の低下がみられる場合は、幼穂形成期から減数分裂期に追肥を行う。
- 斑点米カメムシ対策のため、本田の残草対策やほ場周辺・畦畔の除草作業を計画的に行いましょう！

1 気象経過

- ・東北南部は、6月20日頃に梅雨入り。平年より8日遅く、昨年より3日早い。
- ・最高気温の変化が大きい。6月第2・第5半旬は、平均気温が直近10年の平均値より3℃程度低かった。
- ・日照時間は平年並み。まとまった降雨により6月の降水量は平年の2倍となった。

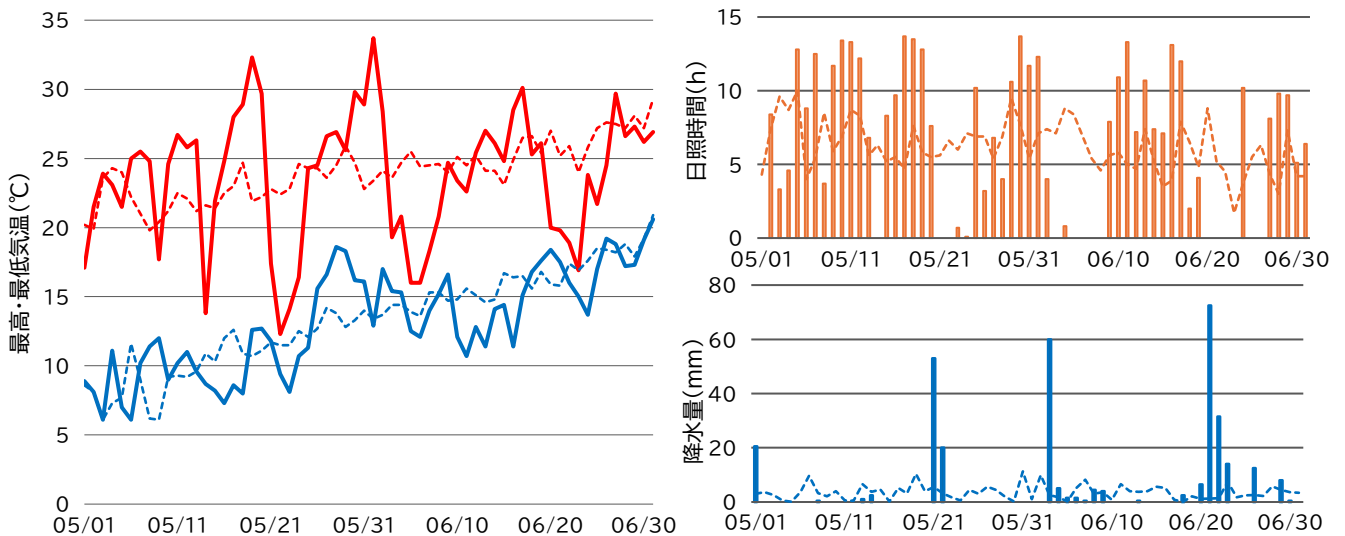


図1 気象経過（丸森アメダス、5/1～7/1、点線は直近10年の平均値）

表1 気象庁の向こう1か月予報（東北または東北太平洋側：7/2発表）

気温			降水量	日照時間
7/4～10	7/11～24	7/18～31		
高い	高い	平年並～高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

2 生育状況

草丈：やや低い 茎数：平年並み～やや多い 葉色：淡い

5月上旬移植の南部平坦ひとめぼれは、まもなく幼穂形成期に

表2 「ひとめぼれ」「つや姫」の生育調査結果（7/1 調査）

市町	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色		
			本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m ²)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	(GM)	平年差	前年差
角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/10	5/13	53.0	88%	80%	488	112%	96%	9.7	-1.2	-1.2	38.2	-3.3	-0.5
白石市	西部丘陵	ひとめぼれ	5/17	5/16	45.6	93%	86%	230	71%	76%	8.6	-1.4	-0.8	39.8	-1.0	-2.8
角田市	南部平坦	つや姫	5/25	5/22	46.5	95%	84%	349	103%	148%	8.6	-0.4	-1.2	41.9	-1.1	-0.4
村田町	南部平坦	つや姫	5/5	5/3	49.7	85%	80%	512	107%	114%	9.7	-0.4	-0.7	42.3	-0.3	+3.3

※平年値は、直近5か年(R3～R7)の平均値

白石市「ひとめぼれ」はR6年度から調査ほ場を変更しているため、平年比・差は参考値。

- ・5月上旬移植「ひとめぼれ」は、茎数がやや多い(112%)が、草丈・葉色は低い。
- ・5月中下旬移植のほ場は、生育がやや遅れ気味で、まだ有効茎数が確保できていない。
- ・5/10 移植の「ひとめぼれ」(南部平坦)の幼穂長は 0.7mm で、まもなく幼穂形成期に達する。(※出穂の早かった令和6年(1.7mm)を除く直近5か年(R2～7)の平均は0.7mm。)

表3 栽培支援システムのNDVI(植生指数)と生育ステージ予測

市町	地帯区分	品種	移植日	平均NDVI	生育ステージ予測		
					幼穂形成期	減数分裂期	出穂期
角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/10	0.46 (6/17)	7/9	7/17	7/29
白石市	西部丘陵	ひとめぼれ	5/17	0.47 (6/17)	7/19	7/24	8/4
村田町	南部平坦	つや姫	5/5	0.55 (6/17)	7/10	7/20	8/1
角田市	南部平坦	つや姫	5/25	0.39 (6/16)	7/19	7/26	8/10

※栽培支援システムは、BASF社の「ザルビオ®フィールドマネージャー」を使用。

NDVIは、植物の生育量や活性度(葉色)を数値化したもの。()内の日付は衛星画像の撮影日。

生育ステージ予測は、7/1時点の移植日、品種、気象データ等を基にシステムが予測したもの。

- ・栽培支援システムの予測では、5/10 移植の「ひとめぼれ」は 7/29 頃に出穂期を迎えるが、7月の予想気温が高いことや既に幼穂が観察されていることから、さらに早まると考える。

3 今後の管理

(1)水管理・中干し

- ・**目標茎数の8割程度を確保したら中干し**を行い、根の活力向上、無効分げつの抑制、土壌物理性の改善を図りましょう。
- ・過剰な茎数(分げつ)は籾数の増加につながり、適正籾数を超えると登熟歩合が低下し、品質が低下しやすくなります。
- ・中干しは、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、遅くとも**幼穂形成期**までには終えるようにしましょう。
- ・中干し終了後に、急に湛水状態にすると土壌の還元が急激に進み、酸素不足になり根を傷めやすくなります。**中干し終了後の入水は、田面が浸る程度の走り水**とし、その後は間断かん水に移行しましょう。

表4 1 m²当たりの目標茎数

品種	目標有効茎数
ひとめぼれ	410～460 本/m ²
つや姫	430～470 本/m ²
だて正夢	350～400 本/m ²

(2)追肥

- ・適切な追肥は、**適正籾数の確保や登熟歩合の増加**につながり、収量・品質の向上に効果的です。葉色や茎数を観察しながら、積極的に追肥しましょう。
- ・幼穂形成期の追肥は、穂数や1穂籾数の増加に有効ですが、窒素供給が過剰になると、下位節間が伸びて倒伏の要因になりやすいため、茎数が多い場合は控えましょう。
- ・減数分裂期の追肥は、籾数の減少を防ぐ他、**登熟を良化**させます。今年も登熟期間の高温が予想されるので、登熟不良を避けるためにも積極的に実施しましょう。

【追肥の判断】

- ・葉色を測定し、目安の範囲内かそれ以下であれば追肥を行ってください。
- ・茎数が多い場合は、籾数が過剰になるのを防ぐため、幼穂形成期の追肥は見送るか減肥してください。

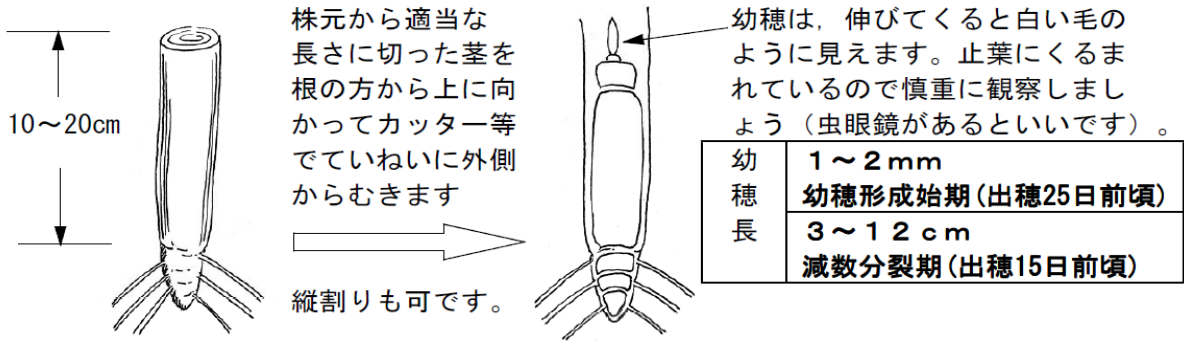
表5 追肥の要否判定の目安

品種名	幼穂形成期（出穂約25～20日前）			減数分裂期（出穂約15～10日前）		
	葉色		追肥窒素量	葉色		追肥窒素量
	カラースケール	葉緑素計		カラースケール	葉緑素計	
ひとめぼれ	4.4 ～ 4.8	38 ～ 40	1kg/10a	4.0 ～ 4.3	35 ～ 37	1kg/10a
つや姫	4.0 ～ 4.3	35 ～ 37	2kg/10a	—		
まなむすめ	4.0 ～ 4.3	35 ～ 37	2kg/10a	—		
ササニシキ	—			3.5 ～ 3.8	32 ～ 34	1～1.5kg/10a
だて正夢	—			4.3 ～ 4.6	37 ～ 39	2kg/10a

注) カラースケールの値は、県稲作指導指針（基本編）に記載されている

「葉緑素計値（SPAD502値）×0.162－1.709」で計算した値を使用しています。

【幼穂長の調べ方】



(3) 斑点米カメムシ類

・昨年、大河原管内では特に大型のクモハリカメムシが多発し、斑点米カメムシ類の被害が多く発生しました。

・斑点米カメムシ類の発生を抑えるためには、

- ① ヒエやホタルイなどのカメムシ類が好む雑草を本田に残さない
- ② 畦畔での増殖を抑えるために7月中旬(稲の出穂10日前)までにほ場周辺の休耕田や土手・畦畔等の除草を行う

ことが重要です。

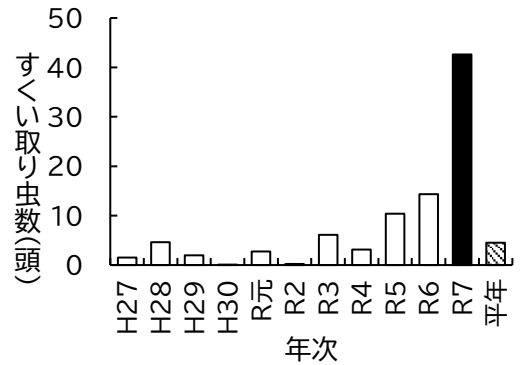


図2 大河原地域におけるクモハリカメムシのすくい取り虫数の推移(8月中旬)
(県病害虫防除所調査)



アカスジカスミカメ
体長 5 mm程度

ホソハリカメムシ
体長 10 mm程度
肩がとがっている

イネカメムシ
体長 13 mm程度
丸みを帯びている

クモハリカメムシ
体長 16 mm程度
緑色で細長い

図3 主要な斑点米カメムシ類

※縮尺は画像によって異なります。(右にいくほどより大型のカメムシ)

【イネカメムシ】

・イネカメムシは、令和5～7年度に福島県で発生が確認されていますが、本県での発生はまだ確認されていません。

・イネカメムシは、出穂期の稲を加害し、斑点米や不稔籾を発生させ、減収します。

・イネカメムシやよく似たカメムシを見つけた場合は、普及センターか県病害虫防除所に情報提供をお願いします。

大河原普及センター先進技術第一班 TEL: 0224-53-3496
 病害虫防除所予察班 TEL: 022-275-8982

(4)病害虫防除 葉いもち

- ・葉いもちの発生時期は平年並み(全般発生期※7/11～15)となっています。(病害虫防除所 発生予報第3号 6/25 発表) ※県内で広く葉いもちが確認される時期
- ・7月は高温傾向になると予想されていますが、アメダスの気象データによると、6/19～22頃に白石、蔵王で葉いもちの感染好適条件が出現していますので、ほ場を見回りながら、早期発見と防除に努めましょう。

(5)雑草防除

- ・初中期除草剤の効果が切れた後や中干し後の雑草の発生に注意しましょう。草種と生育量を確認し、適切な薬剤(中後期剤)を選んで防除しましょう。
- ・ここ数年は、7月以降に発生するヒエが目立っています。雑草が大きくなると除草剤が効きにくくなるので、ほ場をよく観察し、雑草が成長する前に防除しましょう。

4 直播栽培の管理のポイント

(1)生育状況 (7/1調査)

【湛水直播】

表6 湛水直播の生育調査結果

市町	品種	播種月日		出芽揃日		苗立数(本/㎡)		草丈		茎数		葉数		葉色	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	(cm)	平年値	(本/㎡)	平年値	(枚)	平年値	(GM)	平年値
蔵王町	ひとめぼれ	5/29	5/10	6/9	5/23	67.9	56.5	27.0	41.8	85.1	396.0	5.4	9.0	35.9	43.4

※今年播種が5月下旬に変更になったため、平年値との比較はなし。

- ・直近5か年の6/10調査、6/20調査の平均と比べると、茎数・葉色がやや低い。
- ・5月上中旬に播種した場合は、表6の平年値を参考にしてください。

【乾田直播】

表7 乾田直播の生育調査結果

市町	品種	播種日	苗立数(本/㎡)	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(枚)	葉色(GM)
村田町	ひとめぼれ	3/15	106.7	46	388.4	8.6	38.6

※R8から新規で調査しているため、平年値等はなし。

- ・茎数は順調に増加しているが、葉色がやや淡い。

(2)管理のポイント

【水管理】

- ・除草剤の効果を維持しながら分げつの発生を促すため、**浅水管理**を行いましょう。
- ・田面が出ていると、除草剤の効果が低下し、さらには分げつも増えにくいので、湛水状態を保つようにしまししょう。
- ・**目標茎数(ひとめぼれ:450本/m²)の8割程度を確保**するように管理し、中干しをしまししょう。
- ・グレンドリル-鎮圧体系の乾田直播は、ほ場が固いので収穫作業を考慮した中干しは不要です。土壌の還元状態などで生育が停滞している場合には中干ししまししょう。

【雑草防除】

- ・残草がある場合には、草種と生育量、稲の葉齢を確認し、適切な薬剤を選んで処理しまししょう。直播栽培への農薬登録も確認しまししょう。

【葉いもち防除】

- ・葉いもちの発生が確認された場合は、速やかに茎葉散布剤を散布してください。
- ・特に、葉いもちの予防粒剤を施用していない直播栽培等では、ほ場をよく観察し、早期発見、早期防除に努めまししょう。

【紋枯病防除】

- ・近年は、高温の影響で**紋枯病の発生**が多くなっています。特に条播のほ場では、条に沿って感染が広がりやすい傾向があります。
- ・前年に紋枯病の発生が多かったほ場では、出穂前の予防剤の散布や、穂ばらみ期頃の茎葉処理剤散布を検討しまししょう。

○令和8年度仙南水稻栽培塾 ～乾田直播栽培で実現する省力・低コストな米づくり～

日時:7月15日(水)10:00~12:00

場所:JAみやぎ仙南村田地区事業本部+現地ほ場(乾田直播栽培)

参加希望者は、7月8日(水)までに、大河原地方振興事務所農業振興部農業振興班宛てご連絡ください。

E-mail:oknsbns@pref.miyagi.lg.jp FAX:0224-53-3289

○令和8年度宮城県農薬危害防止運動(~8/31)

- ・農薬を使用する際は、農薬ラベルをよく読み、周辺へ配慮し飛散防止対策を徹底しまししょう!
- ・最新の農薬情報は、農林水産省ホームページで確認できます。